競技かるた大会における感染症予防対策

（會津かるた会）

競技かるた大会は、3密の状態になりやすいため、以下の感染症対策をとり、万全を期して開催するものとする。

1. 大会に際しては、参加者へ以下の注意を予め喚起すると共に、大会の時点で参加者リスト（参加・引率・観覧）を提出させる。
2. 参加者及び役員は、当日の体温と体調の状態を記録し、提出させる。
3. 大会開催中に感染が疑われる者を確認した場合は、直ちに中止し解散し、主催者によってドアノブ、手すり、スイッチ類の消毒を実施すると共に濃厚接触者リストを施設管理者へ提出する。濃厚接触者については、当局による感染検査等をうけさせる。
4. 大会打合せの際に、参加者本人若しくはその同居家族や身近な知人（濃厚接触の恐れのある者）に感染が疑われる方がいる場合には、参加させない旨伝え即時に退場させる。
5. 大会後１週間以内に参加者の中から感染者が発生した場合は、濃厚接触者リストにより、接触者へ当局より連絡があった場合に検査を受けることを了承させる。
6. 参加者及び引率・観覧者を含めて全員、施設入り口で検温をし、発熱と認められる場合（37.5℃を超える）は入場させない。
7. 参加者は、施設入り口で手を消毒すると共に、うがい、手洗いを励行する。
8. 主催者は、トイレ（ドアノブ、手すり、スイッチ、蛇口）の消毒を特に念入りにする。
9. 大会の席は、前後左右に十分間隔を開けて設置する。（１組に３畳）
10. 競技中は常にマスク（不織布マスクが望ましい）を着用する。
11. 読手は、マスク（立体形状）を着用して読み上げる。また、席から２ｍ以上離れた位置で読む。会場の広さによってマイクを使用する。
12. 試合の合間は、窓を開けて常に換気をする。
13. 昼食をとる場合は十分換気し、密集して食事をとることのないよう注意する。